

タイトル：八王子ごみ減量化に向けて

英語タイトル：Toward waste reduction in Hachioji City

グループ名：半田ゼミ B チーム

学生氏名：越智彩名，飯塚凜，岡颯唯，小出歩佑果，平安名真直

指導教員：半田英俊

杏林大学 総合政策学部 総合政策学科 半田研究室

八王子市はごみ減量化に力を入れている自治体である。だが、八王子市民の半数以上がこの取り組みを知らないのが現状である。そこで、市民の認知度を向上させることで、リサイクル率1位に繋げる。その後は、八王子市の制度を全国にも広げていき、日本全体でごみ排出量削減を目指す。

キーワード：ごみ問題，リサイクル，認知度

1. 日本のごみ問題と八王子市の取り組み

環境省が発表した一般廃棄物の排出及び処理状況等(令和4年度)において、日本のごみ総排出量は年間4,034万トンであり、これは東京ドーム約33杯分にも及ぶ。この量は、1日当たり排出するごみの量に換算すると、日本人ひとりにつき880グラムとなり、多くのごみが排出されている。そのような状況で八王子市は人口50万人以上の都市の中では、ごみ排出量が最も少なく、リサイクル率も2位を獲得しており、ごみ問題に対する意識が高いことが分かる。

2. 経緯

活動当初の目標として、八王子市に他の都市の取り組みを提案しリサイクル率を1位にする案と、八王子市の取り組みを広げる案の2つを挙げて活動を進めた。まず、リサイクル率1位を目指すために、令和4年度において、人口50万人以上の都市の中でリサイクル率1位である千葉県千葉市にリサイクルへの取り組み内容を問い合わせた。次に、問い合わせた内容と市のホームページ等を比較した所、八王子市が未だに行っていない取り組みがなかったことや、八王子市の方がリサイクルへの取り組みが優れていたため、同市の取り組みを更に広げることを活動目標に掲げて研究を進めた。

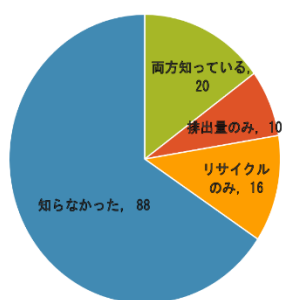
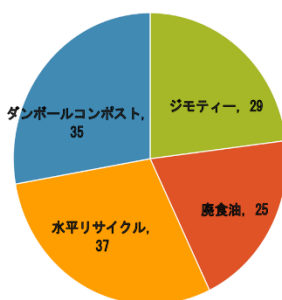
3. 私たちの取り組み

私たちは、八王子市民の方へアンケートを実施し、①「自治体ランキング」という指標を知っているか、②ごみ減量化に向けて八王子市がどのような活動をしているのかということについて調査を行った。ちなみに、今回は市民の方に身近な八王子市のごみ問題への4つの取り組みである①ジモティスポット八王子、②廃色油の店頭回収、③ボトルの水平リサイクル(ボトルtoボトル)、④ダンボールコンポストを取り上げて、7月20日の「アースデイ2024in南大沢」と10月6日の「はちおうじNPOフェスティバル2024」においてアンケートを実施した。結果として2日間で合計134人の八王子市民の方から回答を頂いた。

4. アンケート結果より分かったこと

このアンケート結果により、八王子市民の方の中で自治体ランキングを「知らない」という人が半数以上いることが分かった。また、自治体ランキングを「知っている」と答えた人は市の取り組みを全般的に周知しており、実際に利用している人が多いことが分かった。そこで半数以上の方がランキングを認知しておらず八王子市の取り組みを知らなかったことに着目し、認知度向上に向けて八王子市のごみ減量化の取り組みを促すことを目的としたポスターの作成に取り掛かった。

自治体ランキング認知度

八王子の取り組みの認知度
(複数回答可)

5. ポスター作成

八王子市で行われているごみ減量化に向けての活動内容 4 つの取り組みをまとめたポスターを作成した。アンケートの際、「取り組みを知らない」「どこで利用できるか分からない」という意見を頂いたため、これを参考に取り組み内容を 3 行程度でまとめ、実施場所も簡単に記載した。また、イラストを用いたり色合いを取り組み内容に合わせたりすることで目に留まるポスターを意識した。

6. 結論

人口 50 万人規模の都市の中でも、八王子市は、ごみ排出量が最も少なく、リサイクル率でも高い評価を得ており、市民の環境意識の高さを伺うことができる。しかし、実施したアンケート調査から、自治体ランキングや市の取り組みについての認知度が低いことが明らかになった。具体的には、回答者の半数以上がランキングを知らず、八王子市のごみ減量化に向けた活動に対する理解も不十分であった。これらの結果を受けて、ポスターの掲示をすることで住民の認知度向上を目指した。

ポスターには、ジモティースポットや廃色油の店頭回収、ボトルの水平リサイクル、ダンボールコンポストなど、身近な活動を紹介し、住民の参加を促すポスターを掲示することで住民の理解と意識が高まり、八王子市で持続可能な社会の実現が可能になると考えられる。

7. 今後の展望

八王子市民一人ひとりのごみ減量化に対する意識が向上することで、八王子市はこれまで成し遂

げたことのない、ごみ排出量において自治体ランキング 1 位だけでなく、リサイクル率においても 1 位を達成できると考えている。

今回は、八王子市民を中心に認知度向上のための活動を行ったが、私たちの最終目標は、日本全体でのごみ減量化である。八王子市を筆頭に、こうした取り組みへの認知が広がることで、八王子市がモデルケースとなり、他の自治体や地域にも同様の活動が広がり、日本全体のごみ排出量の削減に繋がると考えている。

環境汚染など様々な問題に対してリサイクルの活動が活発化し、無駄が少ない「循環型社会」づくりが進むことで今までゴミによって生じていた環境への負担が軽減されると予想される。結果として、地球にやさしい持続可能な社会に向かうための大きな一歩となると考えられる。

8. 参考文献

八王子市公式ホームページ

(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/>)

環境省一般廃棄物の排出及び処理状況等令和 4 年
(https://www.env.go.jp/press/press_02960.html)

八王子市プレスリリース令和 4 年度

(https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/01/001/009/001/p023092_d/fil/050331gomi.pdf)

八王子市と「ペットボトル水平リサイクル事業に係る協定」を締結

(<https://www.ccbji.co.jp/news/detail.php?id=1449>)

廃食油の店頭回収

(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/001/001/p033351.html>)

ジモティースポット八王子

(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/001/001/p031070.html>)

八王子市ダンボールコンポストの普及

(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/001/torikumi/genryo/p002402.html>)